



フリー・ザ・チルドレン・ジャパン Free The Children Japan

2013 年度年次報告書 Annual Report 2013



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとは

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、「Kids Can! (子どもだからこそできるんだ!)」を理念に、国内の子どもの国際協力活動を推進、海外の児童労働や貧困下の子どもたちの支援を行っています。

ビジョン

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目指す社会

世界中の子どもたちが「子どもの権利」を奪われることなく、
心もからだも健康に育ち、自身の夢や希望を実現できる社会。
そして、世界中の人々、特に子どもが国籍・宗教・年齢・性別・文化に
関係なく、互いを認め合い、互いに勇気付ける社会。

ミッション

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの使命

貧困や児童労働から子どもを Free (解放) すること。
「子どもは無力だ」という考えから子どもを Free (解放) すること。

活動内容

上記のビジョン・ミッションを達成するため、私たちは5つの事業を行っています。

子ども主体
事業

子ども活動
応援事業

海外自立支援
事業

ネットワーク
事業

アドボカシー
事業

2013 年度事業を実施して

2013 年度は新たに専従及び非専従スタッフを迎え、専従スタッフ 3 人、非専従スタッフ 4 人、インターン 15 人、その他、定期的にオフィスに来て作業をして下さるボランティアやメンバーの皆さんに支えられ事業に取り組むことができました。それにより、2013 年度の課題の一つであった「企業や家族、英語ユーザー向けの団体紹介キットを作成し、FTCJ の活動に参加、協力頂けるような環境を整える。」に取り組むことができ、新たな協力者の獲得につながられました。

2012 年度に引き続き、公立学校を中心とした学校への出張講演事業の拡充に向け、ファシリテーター及びスピーカー養成講座を実施し、述べ 36 人を育成し、92 の学校やその他組織、イベントに対してスタッフを派遣して、国際問題、人権問題及び団体活動についての講座やワークショップを行いました。

2013 年度の課題の一つの「出張講演のプログラム内容を充実させ、多種多様な層にアプローチできるように対応する。」に取り組み、通常のプログラムに加え、東日本大震災によって被災した子どもへの特別支援プログラムを開発し、福島県相馬市及び宮城県仙台市の学校への無料出張講演を行い、被災児童に直接、語りかけることができたことは私たちにとって有意義な活動となりました。

また、東日本大震災支援として、被災児童 5 人をカナダで夏に開催された「Take Action Camp」へ無料招待し、参加した高校生からは「カナダでのキャンプに参加して、積極的に活動するたくさんの中高生に出会い刺激を受けました。世界の貧困や児童労働で苦しむ子どもたちの存在を知り、今後、このような国際問題に高校生として、取り組んでいきたいと強く思うようになりました。」という感想をもらい、私たち自身、勇気づけられました。

海外自立支援事業としては、2013 年 11 月にフィリピンのビサヤ地方を襲った大型台風の被災地域への緊急支援として物資の配給や校舎の修繕などに取り組みました。多くの方から素早いご寄付を頂きましたことをここにお礼申し上げます。



代表理事 中島早苗

目次

2013 年度をふりかえる …P4

国内事業報告 …P6

子ども主体・子ども活動応援事業 … P8

アドボカシー事業 …P16

ネットワーク事業 …P20

海外自立支援事業報告 …P22

フィリピン …P24

インド …P26

モンゴル …P28

ケニア …P29

会計・監査報告 …P32

ご寄付・ご協力いただき企業・団体一覧、

メディア掲載 …P34,35

イベント出展・スピーカー派遣（学校等への出張講演含む）

58 回 / 参加人数：4,715 人

▶元フィリピンから来日した元児童労働者の講演会を行い、その後交流会を行いました。



▲フェアトレード商品の販売を行っているオンラインストアがリニューアルオープンしました！

A LOOK BACK AT 2013

2013 年度ご寄付・募金合計 **17,324,202 円**

たくさんの方々のご支援によって、国内外の子どもたちへの支援を行うことができました。
みなさまからの温かいご支援、心より感謝申し上げます。

▼保健衛生指導ワークショップ参加者（インド）

子ども **170** 人およびその家族 **800** 人



▲台風 30 号緊急支援（フィリピン）

2013 年 11 月にフィリピンを襲った大型台風「ハイヤン（ヨランダ）」により被害を受けた人々に、食糧・医療品・生活用品・学用品などの支援を行いました。





◀ Take Action Camp in Japan (千葉県)

参加者 **40** 人

ファシリテーター育成講座を受講したユースメンバーがファシリテーターとして参加し、ワークショップなどを行いました。



東日本大震災による被害を受けた子どもたちを対象に、出張講演を行いました。

新規メンバーの登録数：**239** 人

子ども及びユースメンバー合計：**1,039** 人

(2014 年 3 月末)



◀ デイケアセンター開設 (フィリピン)



図書室開設 ▶
第 92 号学校の子どもたち
(モンゴル)

国内事業

事業内容

国内事業では、日本の子どもたちの「やってみたい」という気持ちを引き出し、社会問題を解決するために行動する子どもたちの育成、サポートをするため、4つの事業を展開しています。



子ども主体事業 ... p 8

子ども代表委員がリーダーとなり、子どもメンバーが子どもの意見やアイデアを集め、世界の子どもの権利を守るための事業を自ら企画し活動しています。



アドボカシー事業 ... p18

子どもやおとなに途上国の子どもの問題や子どもの権利について知らせ、人々の意識を高める事を目的とし、全国の学校、イベントなどでスピーチ（講演）、ワークショップなどを実施し、世界の子どもたちの状況や、子どもの権利のことを伝えます。



子ども活動応援事業 ... p9

子どもに気づきのきっかけを与え、力づける、スキルを身につける機会を提供するこの2つを目的として、日本の子どもたちが国際協力活動に取り組むための環境づくりをしています。



外部ネットワーク事業 ... p20

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのビジョン、ゴールを実現することを目指し、様々なセクター、組織と協働し活動しています。

子ども代表委員企画

2013 年度子ども代表委員

西野 彩妃 (高校 3 年生) 賀来 ゆり恵 (高校 2 年生) 佐光 真由子 (高校 2 年生)

サポート役 林 優香 (大学 1 年生)

2013 年度 活動内容

1. TAAJ(テイクアクションアカデミーインジャパン) の開催

内容 : 子どもメンバーの活動紹介を担当しました。

2. 熊本支部との情報交換

内容 : スカイプを通して、最近のお互いの支部の活動を近況報告しました。

3. 活動ヒント講座にて、新しいメンバーへのアドバイス、サポート

内容 : 活動ヒント講座にきてくれたメンバーに同じ子どもメンバーとしてアドバイスをしました。おすすめのチームやアクションの起こし方などを説明。

今年は特に元子どもメンバーを呼ぶ企画を行い、元子ども代表委員や NGO 職員の方に話を聞きました。



1 年をふりかえって : 子ども代表委員 西野彩妃

今年は前年に引き続き同じメンバーとの活動だったので、話し合いをするにしても、活動をするにしても、円滑に進めることができました。自分の意見をはっきりと伝え、ON/OFF の切り替えがしっかりとできるという点でとても活動しやすい子ども代表委員だったと思います。子どもながらの柔軟な発想を活かし、子どもメンバーらしく楽しみながら活動できました。代表委員が留学中であつたり、受験生であつたりとそれぞれ忙しく、なかなか集まることができませんでした。個々で活動に参加し、子どもメンバーがより活動しやすい環境づくりをすることができたと思います。

2 年間、このメンバーと子ども代表委員として活動できたことをとても幸せに思います。とても仲がよく、お互いにいい影響を与えあうことができました。スタッフを始め、子どもメンバーの活動をサポートしてくださった皆さん、ありがとうございました！

活動ヒント講座

国際協力に興味はあるが何から始めればよいのか分からないという、小中高生や大学生に対して「活動ヒント講座」を毎月1回開催しました。世界の問題を映像や写真、ワークショップを通じて、自分の特技を活かした国際協力の活動を考えていくワークショップを行いました。

2013年度は、「ようこそ先輩」と題して以前フリー・ザ・チルドレンで積極的に活動していた方々をお迎えして、当時の様子や現在どういった活動をされているかなどをお話していただいたほか、大学生ユースメンバーが企画・実施の講座も開かれました。



▲以前メンバーとして活動していた野川未央さん



▲以前メンバーとして活動していた志賀アリカさん



▲ユースメンバー企画の活動ヒント講座も実施（左）世界の食糧について考えよう（右）世界の女の子について知ろう



チーム活動

フリー・ザ・チルドレン・ジャパンでは、メンバーが自分の特技や好きな事を活かして、国際協力に取り組むチーム活動をサポートしています。2013年度は8つのチームが活動しました。

募金チーム



▲募金チーム

月一度のペースで街頭募金を実施。

たくさんの方に募金にご協力いただきました！



フィルムクリエイター



▲フィルムクリエイターチーム

MiniWedayの参加者を集めるために、広報のための動画を作成しました。

フラッシュモブ



▲フラッシュモブチーム

イベントなどでフラッシュモブに挑戦しました。たくさんのメンバーが集まりました！

福岡グループ



▲一円玉募金やモンゴルに送る絵本を集めたり、クリスマス募金を行いました！（福岡）

相模女子高等学校



▲学校の文化祭でフェアトレード商品の販売や、パネルの展示、一円玉募金を行いました！（神奈川）



フリーマーケットに出店しました。売り上げは活動資金や支援金に充ちています。（熊本）

FTCJ

KUMAMOTO

イベントでフェアトレード商品販売や募金活動、ウォークを行いました！



関西グループ

FTC 明学



街頭募金やパレード、シャンティチョコレートの販売を行いました！（東京）

MiniWeday



▲ MiniWeday チーム

世界の現状を音楽やスピーチ、ダンスなどを通して伝え、一歩を踏み出すきっかけを作るイベントを開催しました！



アンバサダーズ



▲アンバサダーチーム

出張講演でスピーチやワークショップのファシリテーターを行いました。事務所で行われている団体説明会でも、団体説明等を行っています。

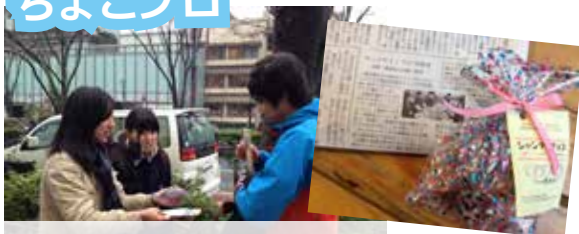
フェアトレード



◀ フェアトレードチームイベントでフェアトレード商品の販売を行いました。また、学生向けの商品開発を行い、ついに商品が完成しました！



ちょこプロ



▲ちょこプロ

今年はインド学校建設支援のためのチャリティチョコレート販売しました！

北海道教育大学付属 札幌中学校



▲国際問題について自分たちから働きかけるため、街頭募金を行いました！

グループ活動

学校や地域で仲間を集め、活動しているグループのサポートをい行っています。

2013 年度は 16 のグループが活動しました。

インド学校建設グループ

▼ユースメンバーを中心として拓殖大学、立教大学や法政大学などでサークルやグループができました。2013 年度はチャリティフットサルや街頭募金を行いました！（東京近郊）



テイクアクションキャンプ in カナダ

寄付協力：クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社

株式会社レアジョブ



8月1日から8月12日まで、フリー・ザ・チルドレンが行っている、子ども・若者向けのリーダーシップトレーニング・プログラム、テイク・アクション・キャンプ（Take Action Camp:TAC）に 日本の子ども 若者が参加できるよう企画運営を行いました。TACでは、1週間生活を共にして参加型ワークショップやセミナー、アクティビティーを通じて、アクションを起こすために必要なスキルを身につけます。

2013年度は、クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社さまのご支援により、東日本大震災被災地域に暮らす子どもたち5名を招待することができ、日本からの参加者は8名でした。





キャンプでは、世界の現状について学び、それに対しどうしたら変化が起こせるか、参加者同士で意見を出し合いました。

ディスカッションのみのワークショップだけではなく、コミュニケーションをとりながら体をつかって行うアクティビティもたくさんありました。



参加者の声



中村瞳子
(中学3年生)

TACに参加して、世界の問題を身近に感じる様になり、世界の問題の為に自分が何をして出来るのかを具体的に考えられる様になりました。TACは、私の世界観を変えてくれて、視野を広くしてくれました。私は、今でもキャンプに戻りたい気持ちでいっぱいです！



角田将樹
(高校1年生)

TACに参加してまず自分の国では絶対見ることのできない景色とか、絶対に感じることでないことを見たり感じたりできました。それと、ほかの国の子どもと一緒にアクティビティしたり、同じ部屋で寝泊まりしたりします。最初は不安だったけど、だんだん、「話したいな！」「もっと仲良くしたいな！」って思うようになって、自分からコミュニケーションをとるようになりました！

テイクアクションキャンプ in ジャパン

助成協力：三菱 UFJ 国際財団

寄付協力：株式会社 チャンピオン

2014 年春休み期間に千葉県内で、テイク・アクション・アカデミー in ジャパン (Take Action Academy Japan : TAAJ) を開催しました。TAAJ は、ワークショップやディスカッションを通して、参加者である子ども若者が社会で起きている問題を知り、その解決に向けて自らがどうアクションを起こすか考え、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ 3 泊 4 日で行われる合宿型ワークショップです。25 名の中高生が参加し、15 名のユースメンバーがファシリテーターを務めました。

2013 年度は、三菱 UFJ 国際財団様から助成協力を頂き事業を実施することができました。また、株式会社チャンピオン様のご支援により、東日本大震災被災地域に住む子ども 1 名を招待することができました。



参加者の声



小林春菜
(高校 1 年生)

TAAJ に参加して一番変わったなと感じることは、自分自身に胸を張れるようになったことです。思っていることを本音で語り合える場所があって、それを受け入れてくれる場所があったからこそ変わったと思います。

まずはこの活動や、貧困の現状を自分のまわりから広めていきたいです。私は話すことが好きだから、たくさんのひとに自分の言葉で伝え、みんなでアクションをおこしていきたいと思っています。



室内でチームに分かれ
ディスカッションを
行うワークショップ
や、外で体を動かしな
がら行うアクティビ
ティもありました。

プログラム中には、フィリピンから
の元児童労働者やカナダで活動して
いる高校生をゲストとして迎え、講演
をきいたり、交流を行いました。



ファシリテーターは、ファ
シリテーター養成講座を受
けたユースメンバーが担当
しました。
「また参加したい！」
という声に参加者からたく
さん聞かれました。

スピーカー派遣

助成協力：日本財団

寄付協力：株式会社チャンピオン

全国の学校や企業、イベントなどへファシリテーターを派遣し、生徒などの参加者の方々が社会問題を身近に感じ「自分は無力だ」という考えを捨て、「自分にもできる」という自分の可能性にきづくことのできるプログラムを提供しています。

2013 年度は株式会社チャンピオン様の支援によって、東日本大震災被災地域の学校への訪問することができました。また、日本財団様のご支援により、出張講演に同行するファシリテーターの育成にも取り組むことができました。

▼ファシリテーターのスピーチ

▼ファシリテーター養成講座のようす



2013 年度 スピーカー派遣先一覧

小学校 : 5 校

能勢町立天王小学校、調布市立若葉小学校、相馬市立中村第一小学校、福岡県糸島市立南風小学校、練馬区立大泉第二小学校

中学校 : 13 校

大阪府豊能郡能勢町立西中学校、能勢町立東中学校、栃木県真岡市立山前中学校、新宿区立落合第二中学校
東京学芸大附属国際中等教育学校、聖学院中学校・高等学校、豊中市立第五中学校
能勢町立東中学校、能勢町立西中学校、中野区立第五中学校、坂戸市立千代田中学校、さいたま市立八王子中学校

高校 : 13 校

立命館宇治高等学校、能勢高等学校、立命館守山高等学校、東京都立国際高校、川崎市立橘高等学校、
東京都立武蔵村山高等学校、尚絅学院高等学校、埼玉県立春日部女子高等学校、神奈川県立神奈川総合高等学校、
栃木県立益子芳星高等学校、茗溪学園高等学校、神奈川県立有馬高等学校、東京都立六本木高等学校

大学・専門学校 : 1 校

尚絅学院大学、日本医歯薬専門学校、法政大学

その他（団体、イベント等）26 カ所

世田谷区立桜丘中学校 文化祭 SAKURA フェスタ、日本生物地理学会主催講演会、Wesley Foundation Youth Forum、大阪ローターアクトクラブ、獨協大学環境・国際団体 Deco" 全国 NGO の「濃い旅」博覧会～スタディツアー合同説明会～、株式会社ウエストコースト、Lakeland College Japan、カートサーモン US Inc.、せんだい地球フェスタ、世田谷区交流ミーティング、Global Leadership Summit NEXT、Sport For Smile、パルシステム、Sport For Smile シードカフェ 2013、子どもの権利条約フォーラム "Sport For Smile ラウンジスペシャル 2013 Welcome to the ""Sport for Social Change"" World"、Fellowship English Class、FTCJ 熊本&福岡 X'mas ミーティング、第 9 回神奈川国際フェスタ、K International、新潟国際ボランティアセンター、日本公文教育研究会、Take Action Camp Japan、Wesley Foundation、Mini We Day

派遣先合計 : 58 カ所

参加人数合計 : 4,715 人

フェアトレード商品販売

支援先であるフィリピンのブレダ基金やフィリピンにあるフェアトレードショップ、FTC カナダより仕入れている、フェアトレード商品の販売を行っています。2013 年度は、モデルの Katie さん、Tatsuya さん、カメラマン 岡野慶一さん、メイク 要海奈々さんにご協力いただき、フェアトレード T シャツの写真撮影、オンラインストアのリニューアルを行いました。また、イベントに出店し、フェアトレード商品の紹介・販売を行いました。



イベント出店



▲イベントでは、商品販売と同時に、フェアトレードや商品の仕入れ先であるブレダ基金の紹介も行っています。

フェアトレードTシャツ

商品写真撮影



資料開発・ウェブページ更新

助成協力：一般財団法人

日本国際協力システム

2013年度には、以前から進めていた団体ウェブページの改訂を行い、新しいウェブページをオープンすることができました。また、資料開発では子どもメンバーに配布していた活動のヒントについての冊子改訂、大人向けパンフレットの作成などを行いました。



フリー・ザ・チルドレン・ジャパンのビジョン、ゴールを実現することを目指し、様々なセクター、組織と協働し活動しています。

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)



5月7日、衆議院第二議員会館で、4年目となる「国会議員のための世界一大きな授業」を開催しました。余イエハンさん、齊藤初雲さん、大竹春菜さん、坂下朋紀さん、佐光真結子さんが子どもメンバーを代表して「先生」、国会議員25名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行いました。JNNEからはNGOの提言などを伝えました。

世界一大きな授業とは？

2003年より、180か国のNGOや教職員によるネットワークが毎年4月に実施しており、世界中の子どもたちが同じ期間に一齐に世界の教育事情について学ぶ「世界一大きな授業」が行なわれます。

6月1日、横浜で開かれた TICAD V の初日、高校生メンバーが日本からの途上国への教育支援の充実を訴え、全国の「世界一大きな授業2013」参加者の声を阿部俊子外務大臣政務官に手渡しました。また、パネルディスカッションにも参加しました。



日比 NGO ネットワーク (JPN) : フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。

「動く→動かす」: ミレニアム開発目標 (MDGs) を達成し、貧困問題を解決するために 2005 年に発足した世界的な市民社会ネットワーク GCAP (Global Call to Action Against Poverty の略。ジーキャップ)。世界 131 か国にまで広がるこのネットワークの日本版として設立されたのが、「動く→動かす」です。

現在、途上国の貧困問題解決に取り組む日本の NGO72 団体が参加しています。賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施。

児童労働ネットワーク (CL-Net)



6月1日～6月30日にかけて「ストップ！児童労働キャンペーン2013」を実施しました。2013年度は、株式会社ディックブルーナジャパン様ご協力のもと新企画「ひととはあげよう」キャンペーンや、参加団体によるイベント開催、Facebook などの SNS やマスメディアを通じて、啓発活動を行いました。「ひととはあげよう」キャンペーンでは、6月1日～30日の1ヶ月間で、のべ65,366人の方々にリーチすることができました。

子どもの権利条約フォーラム

2013年11月16日、17日に子どもの権利条約フォーラムに幹事として参加しました。オープニングセレモニーでは、アクションキッズが演劇を披露しました。

動く→動かす

貧困解決を求める意志を示すために「立ち上がり」(STAND UP)、「行動する」(TAKE ACTION) ことを呼びかける「STAND UP TAKE ACTION」が行われ、1057件3万4879人が参加しました。

日比 NGO ネットワーク (JPN)

前年度に引き続きフィリピンのGGP（草の根・人間の安全保障無償資金協力。在外日本大使館が担当する途上国援助をするためのODAの一つのスキーム）の現地事業評価報告書を作成し、外務省に対して提言及び意見交換会で発表を行いました。また、11月にフィリピンを襲った大型台風緊急支援に対してネットワークとして情報収集や支援活動に取組みました。

教育協力 NGO ネットワーク (JNNE)：開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し、世界のEFA（万人のための教育）運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動を行っています。

児童労働ネットワーク (CL ネット)：児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されています。

海外自立支援事業

事業実施国一覧

海外支援事業では、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの目的の一つ「貧困や搾取から子どもを解放する」の実現に向け、権利が奪われている開発途上国の子どもたちやその家族を支援しています。2013年度は、インド、フィリピン、モンゴル、ケニアの4カ国で、事業を実施しました。

インド ..p26

<事業内容>

1. 西ベンガル州の貧困下におかれた子どもの救出・自立支援活動
2. ラジャスタン州の貧困農村地域の子どもの支援活動



ケニア ..p29

<事業内容>

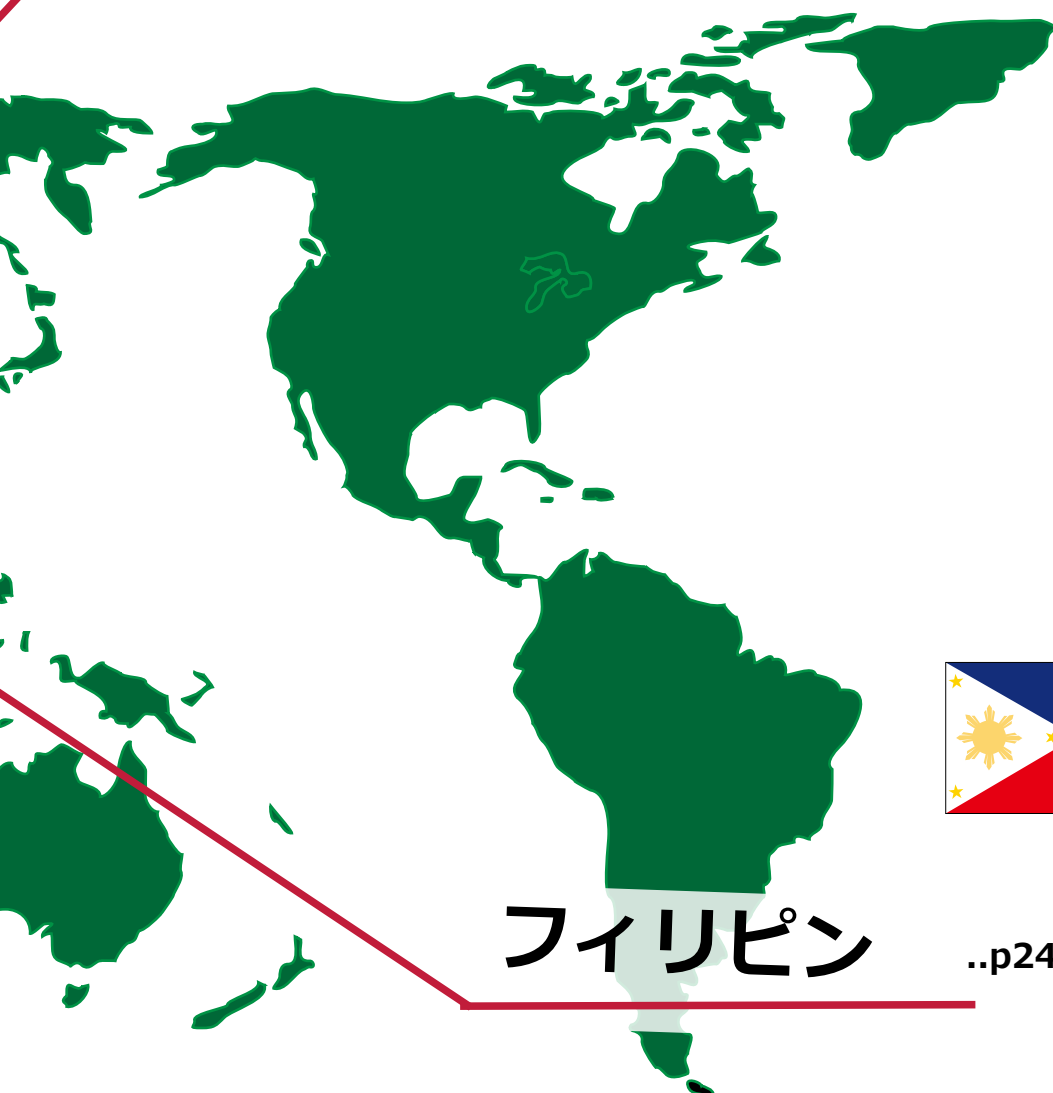
ケニアの乳幼児や子どもへの水支援事業



モンゴル

..p28

＜事業内容＞
図書室設置事業



フィリピン

..p24



＜事業内容＞

1. プレダ基金（PREDA Foundation Inc.）支援
2. ミンダナオ島先住民族コミュニティ 自立支援
3. 緊急支援

フィリピン

先住民族アエタ族コミュニティへの水支援 虐待を受けた子どもへの教育支援

助成協力：TOTO 株式会社 TOTO 水環境基金

主な
受益者

先住民族アエタ族コミュニティへの水支援：3,770 人
虐待を受けた子どもへの教育支援：子ども約 200 人

対象
地域

ルソン島
オロンガポ市

フィリピン・ルソン島の山岳地域に暮らす先住民族のアエタ族の コミュニティの人々がきれいな水に アクセスでき、農業に必要な灌漑用水を確保できるよう水源と水路の設置事業に取組みました。

また、性的虐待や法に抵触し刑務所に入れられた少年に対して、社会復帰できるような教育支援を行いました。実施にあたってはパートナー団体の現地 NGO プレダ基金を通じて事業を行いました。



アエタ族リーダーからのメッセージ

親愛なる皆様へ

コミュニティ全体が、水にアクセスしやすくなって安全な水を飲めるようになりました。私たちのラカス・コミュニティのために本当にありがとうございました！

プレダ基金 (Preda Foundation Inc) とは？

オロンガポ市にある現地 NGO で、「子どもや女性、貧困層の人々を守る」ことを目的に、1974 年、アイルランド人のシェイ・カレイ神父とフィリピン人のヘルモソ夫妻によって設立されました。性的虐待や刑務所から子どもを保護・支援する活動や、貧困層の自立にむけフェアトレード事業も展開しています。

ミンダナオ島先住民族コミュニティ自立支援

助成協力：地球市民財団



主な
受益者

ディババウォン族の幼児・
子ども 300 人

対象
地域

ミンダナオ島

フィリピン南部ミンダナオ島ダバオ・デル・ノルテ州ビナンシャン・バラングイに暮らす先住民族『ディババウォン族』コミュニティの幼児3～5歳約200人対象の幼児教育施設の建設と就学前教育の実施支援。また、コミュニティの子どもを対象にした伝統文化の継承事業の実施を行いました。

緊急支援

寄付協力：TOTO 株式会社、茨城県国際交流協会



ワークショップ実施の様子

2013年11月にフィリピンを直撃した台風30号「ハイラン（ヨランダ）」により、甚大な被害を受けた中部のパナイ島、レイテ島、セブ島、サマル島において、緊急支援を実施し、被災した人々、特に子どもを対象に、食料（水、米等）・医薬品・生活用品・学用品などの支援物資提供を行いました。また、避難所で救援活動にあたる人々に対して、被災者のケアの仕方や接し方の指導を行ったほか、子どもに対して子どもの権利や人身売買や搾取などの危険から身を守るためのワークショップの実施しました。また、家族や親せきを失い孤児になった子どもの調査保護活動、被災した家族への生計維持支援を行いました。

インド



農村地域自立支援：学校建設支援

主な
受益者

バリンド村の 300 世帯の人々

対象
地域

ラジャスタン州ウダイプール周辺
ラジャスマンド地方貧困農村地域

株式会社ディアーズ・ブレインのご支援により建設されたバリンド村の小学校に通う子ども及びその家族とディアーズ・ブレインの社員の皆様との交流事業を実施しました。
また、学校敷地内にトイレ建設設置事業や学校に通う子どもへの保健衛生教育事業を実施しました。



ビロンキ小学校の生徒の声

- 小学校 5 年生 男子生徒 ビジャイ・ラム

「大きな窓のある教室は明るくて、窓にはガラスが入っているので、教室が清潔で勉強していて気持ちが良いです。きれいな学校ができて嬉しいです。」

農村地域自立支援：保健衛生支援

助成協力：草の根市民基金 ぐらん

主な
受益者

ウダウド村の子ども 154 人
及びその家族 800 人

対象
地域

ラジャスタン州ウダイプル周辺
ラジャスマンド地方貧困農村地域



昨年度に引き続き保健教育を実施し、村人の保健衛生の知識を高め、健康向上の活動を実施しました。
具体的には学校敷地内に、スクールガーデンを設置し薬草や野菜類などの苗木を植え、学校に通う生徒と
その家族がそれらの植物を育て健康のために使えるようなセミナーを行いました。
また、家庭訪問を通じた女性の保健教育に対する意識付けの活動にも取り組みました。

CCD マクタニール養護施設運営支援

パートナー
団体

Center for Communication and Development (CCD)



主な
受益者

マクタニール養護施設で
生活する子ども 22 人

対象
地域

インド 西ベンガル州

手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金を主な財源として、
この施設で生活する子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援しました。
支援金は学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費に使われました。
また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいます。

モンゴル

図書室設置事業

活動助成協力：日蓮宗あんのん基金、公益信託 今井海外協力基金



主な
受益者

支援地に住む 3,000 人の子ども



対象
地域

ウランバートル市バヤンズルフ地区
第 92 号学校

2008 年より 5 年間、モンゴルの伝統家屋のゲル図書館を運営し、たくさんの子どもたちが本を読んだり、友達と遊んだり、勉強をしたりして来てくれていましたが、完成より 5 年が経ち、ゲルの寿命が来たためこの図書館は 2012 年夏をもって閉鎖されましたが、今後も子どもたちが本を読む機会を提供し続けるために、2013 年より、公立学校内での図書室の開設の準備を行い、3 月には開設式を行いました。2014 年度も引き続き、運営のサポートを行っていきます。



第 92 号学校



第 92 号学校の校長先生（右）
と現地スタッフ（左）



日本では、たくさんの方々から
現地へ送る絵本を寄贈いただき
ました。



ケニア

乳幼児や子どもへの水支援



主な
受益者

支援地域に暮らす子どもと家族
56人以上



対象
地域

マサイマラ地区
リフトバレー州ナロク県

1 円玉募金の寄付によって、リフトバレー州ナロク南部県のキブシギス族及びマサイ族コミュニティにおける井戸設置事業を実施しました。コミュニティに住む人々が以前は遠くまで水汲みに行かなければなりませんでした。きれいな水へのアクセスがしやすくなり、生活の質と健康、保健面での向上がみられるようになりました。



組織概要

名称：特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

(英文名称) Free The Children Japan

設立年月：1999 年 1 月 1 日

法人格：2004 年 9 月 21 日東京都より「NPO 法人」認証

：2012 年 3 月 16 日国税庁より「認定 NPO 法人」認証

法人格：特定非営利活動法人

事務所所在地 〒 157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F

代表者 中島早苗

メンバー数 1,039 名 (2013 年度登録数)

正会員数 32 名 (2013 年度)

役員・顧問 役員 10 名 (理事 9 名、監事 1 名)、顧問 1 名

事務局員 専従スタッフ 3 名 非専従スタッフ 4 名 インターン 15 名
事務局ボランティア 10 名 翻訳ボランティア 30 名

役員一覧

理事 中島 早苗 (なかじま さなえ)

理事 伴野 保志 (ともの やすし)

理事 永野 恵理 (ながの えり)

理事 出野 恵子 (いでの けいこ)

理事 佐光 紀子 (さこう のりこ)

理事 森田 明彦 (もりた あきひこ)

理事 浅田 紀子 (あさだ のりこ)

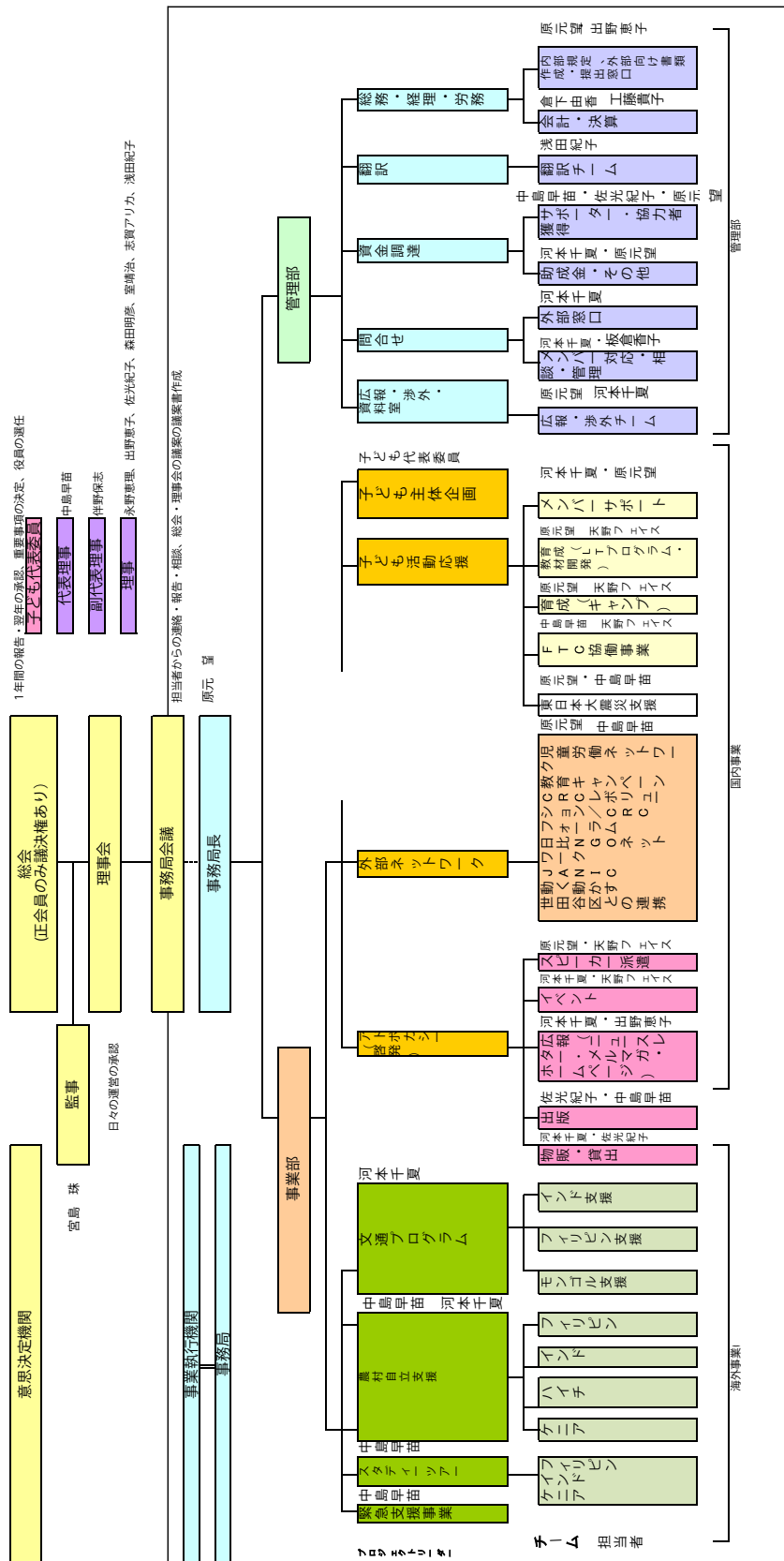
理事 室 靖治 (むろ やすじ)

ユース理事 志賀 アリカ (しが ありか)

監事 宮島 珠 (みやじま たま)

組織図

(3)フリー・ザ・チルドレン・ジャパン 内部組織図及び事務局役割分担2014年度(案)



活動計算書

2013年度 活動計算書
2013年4月1日～2014年3月31日
特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン (単位:円)

科 目	予 算 額		実 績 額	
I 経常収益	小計	合計	小計	合計
1. 会費・入会金収入				
正会員会費	400,000	400,000	200,000	200,000
2. 寄付金・募金収入				
サポーター	1,350,000		632,000	
一般寄付	1,000,000		1,114,783	
国内事業指定寄付	3,000,000		6,734,148	
海外支援事業指定寄付	5,000,000		8,470,603	
管理費指定寄付	100,000	10,450,000	372,668	17,324,202
3. 事業収入				
子ども主体事業	100,000		0	
子ども活動応援事業	4,500,000		2,288,152	
外部ネットワーク事業	100,000		103,010	
アドボカシー事業	4,000,000		1,475,873	
海外自立支援事業	5,670,000	14,370,000	3,236,290	7,103,325
4. 助成金・補助金収入				
助成金	8,800,000	8,800,000	6,065,000	6,065,000
5. その他収入				
受取利息	2,000		2,113	
雑収入	30,000	32,000	45,031	47,144
経常収益合計		34,052,000		30,739,671
II 経常費用	小計	合計	小計	合計
1. 事業費				
(1)人件費				
給料手当	8,350,000		5,546,901	
法定福利費	152,000		43,049	
(2)その他経費				
支払寄付金	7,500,000		6,452,068	
印刷製本費	860,000		674,656	
旅費交通費	8,325,000		7,517,267	
業務委託費	1,100,000		1,577,000	
研修・施設会場費	950,000		565,738	
諸会費	60,000		88,500	
消耗品費	210,000		460,041	
保険	140,000		11,298	
通信運搬費	510,000		575,393	
商品材料	1,500,000		284,957	
雑費	600,000		132,569	
地代家賃	1,104,000		1,103,863	
水道光熱費	173,000		192,745	
支払手数料	94,000		137,972	
租税公課	56,000	31,684,000	55,860	25,419,877
2. 管理費				
(1)人件費				
給料手当	1,000,000		1,534,076	
福利厚生費	0		16,380	
法定福利費	38,000		10,898	
(2)その他経費				
印刷製本費	98,106		30,232	
旅費交通費	150,000		216,953	
業務委託費	200,000		100,000	
研修・施設会場費	60,000		52,795	
消耗品費	200,000		102,004	
保険料	3,000		0	
通信運搬費	99,031		96,253	
地代家賃	276,000		279,422	
水道光熱費	50,000		48,802	
支払手数料	22,000		23,765	
租税公課	14,000		14,140	
雑費	100,000	2,310,137	43,057	2,568,777
経常費用合計		33,994,137		27,988,654
当期経常増減額		57,863		2,751,017
当期正味財産増減額				3,345,681
前期繰越正味財産額				8,129,750
次期繰越正味財産額				11,475,431

(注)旧特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

財務諸表注記

監査報告書

2013年度 活動計算書 特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。
同基準では、特定非営利活動促進法第28条第0項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです

(単位:円)

科目	子ども主体	子ども活動応援	外部ネットワーク	海外自立支援	アドokasi	合計
(1) 人件費						
給料手当	0	1,766,868	240,000	1,308,630	2,231,403	5,546,901
法定福利費	5,395	10,789	5,395	10,790	10,680	43,049
人件費計	5,395	1,777,657	245,395	1,319,420	2,242,083	5,589,950
(2) その他経費						
支払寄附金	10,600	13,982	13,600	6,403,392	10,494	6,452,068
印刷製本費	14,966	130,230	14,966	43,280	471,214	674,656
旅費交通費	996	3,490,414	41,290	2,993,451	991,116	7,517,267
業務委託費	0	420,247	0	0	1,156,753	1,577,000
研修・施設会場費	0	416,278	6,000	1,000	142,460	565,738
諸会費	0	0	88,500	0	0	88,500
消耗品費	46,047	124,655	46,047	94,725	148,567	460,041
保険料	0	11,298	0	0	0	11,298
通信運搬費	24,024	92,496	24,099	85,923	348,851	575,393
商品材料	0	0	0	0	284,957	284,957
雑費	4,778	37,728	4,778	57,781	27,504	132,569
地代家賃	138,329	276,657	138,329	276,660	273,888	1,103,863
水道光熱費	24,155	48,309	24,155	48,300	47,826	192,745
支払手数料	11,499	29,186	12,846	43,284	41,157	137,972
租税公課	7,000	14,000	7,000	14,000	13,860	55,860
その他経費計	282,394	5,105,480	421,610	10,061,796	3,958,647	19,829,927
事業費計	287,789	6,883,137	667,005	11,381,216	6,200,730	25,419,877



貸借対照表

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

(単位:円)

平成26年 3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,208,987
現 金	147,324	預 り 金	231,142
小口 現金	90,149	流動負債 計	1,440,129
普通 預金	11,141,502	負債の部合計	1,440,129
外貨	387,930		
現金・預金 計	11,766,905	正味財産の部	
(売上債権)		【正味財産】	
未 収 金	137,835	正味 財産	11,475,431
売上債権 計	137,835	(うち当期正味財産増加額)	3,345,681
(棚卸資産)		正味財産 計	11,475,431
商 品	901,290	正味財産の部合計	11,475,431
棚卸資産 計	901,290		
流動資産合計	12,806,030		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	272,853		
減価償却累計額	△ 272,853		
有形固定資産 計	0		
(無形固定資産)			
借 地 権	90,000		
電話加入権	19,530		
無形固定資産 計	109,530		
固定資産合計	109,530		
資産の部合計	12,915,560	負債・正味財産の部合計	12,915,560

助成金（順不同）

三菱 UFJ 国際財団（Take Action Academy Japan）
公益信託オラクル有志の会ボランティア基金（活動ガイドブック）
日本財団（出張講演、ファシリテーター育成）
世田谷国際交流基金（活動ヒント講座）
TOTO 株式会社 水環境基金（フィリピン水支援事業）
財団法人地球市民財団（フィリピン・ミンダナオ島先住民族コミュニティ 教育支援）
東京都の草の根助成「草の根市民基金・ぐらん」（インド・ラジャスタン州ウダワド村 農村地域保健衛生支援）
公益信託 今井海外協力基金（モンゴル図書館設置事業）
日蓮宗あんのん基金（モンゴル図書館設置事業）
Panasonic NPO サポートファンド（組織強化）
一般財団法人日本国際協力システム（組織強化）

協力（順不同）

株式会社チャンピオン（東日本大震災支援）
NPO 法人 Shared Smile Japan / 株式会社ディアーズ・ブレイン
（インド・ラジャスタン州バリンド村 学校建設事業支援）
茨城県国際交流協会（フィリピン緊急支援）
パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン株式会社（東日本大震災支援）
コースアクション（組織コンサルタント）
株式会社レアジョブ（東日本大震災支援）
株式会社 日本開発サービス（子ども活動応援事業：Mini Weday）
株式会社 ワイズ・インフィニティ（子ども活動応援事業：Mini Weday）
有限会社センチュリー・フレンド モカベアコーヒー（子ども活動応援事業：Mini Weday）

活動助成協力

JANIC・NGO サポート募金（インド 保健衛生支援）

機関紙：5 件 人権タイムス、シナジー（国際協力 NGO センター発行）、セボネ（世田谷ボランティア協会発行）、月刊福祉広報～明日への手紙～（東京都社会福祉協議会発行）、子どもの権利広報ガイドブック

教材：5 件 高校家庭科教科書 2012 生活学 Navi、中学公民教科書ビジュアル公民 2012、高校英語教科書 UNICORN、高校英語教科書 English Now！、中学公民教科書『ビジュアル公民 2012』

新聞：4 件 東京新聞、公明新聞、サンケイスポーツ、モンゴル通信

雑誌：1 件 ゼクシィ

書籍：2 件 講談社『読む 知る 話す ほんとうにあったお話 5 年生』、小峰書店『イクバルと仲間たち 児童労働に立ち向かった人々』

雑誌・書籍で取り上げられました

結婚情報誌「ゼクシィ」では、エシカルなブチギフトとしてフィリピンから輸入しているドライマンゴーが取り上げられました。また、「ほんとうにあったお話」では、クレイグの団体設立までの物語と活動が取り上げられました。





特定非営利活動法人 フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 3F

TEL&FAX03-6321-8948 (受付 10 : 00-19 : 00)

info@ftcj.com www.ftcj.com

★フリー・ザ・チルドレン・ジャパンは、2012年3月16日、国税庁よりの認定NPO法人として認定されました。これにより、当団体に対する皆さまからの寄付・募金は「特定寄附金」とみなされ「寄附金控除」の対象となります。詳しくは団体ホームページをご覧ください。